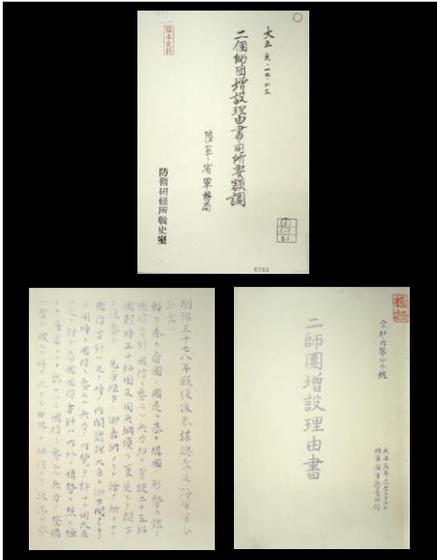


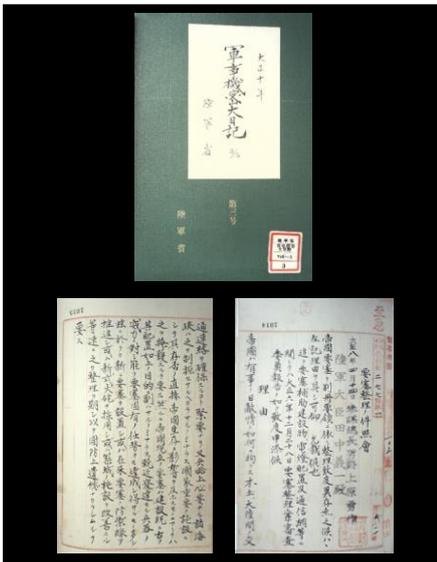
平成28年度も、各都道府県出身の陸海軍将官の中から毎号一人を取り上げて、戦史研究センター史料室が所蔵するその人物などに関連する史料を紹介しています。

《 <sup>うえはら ゆうさく</sup> 上原 勇作 1856～1933年 《  
—宮崎県出身の陸軍大将—



**二個師団増設理由書・同所要額調** (登録番号：文庫-宮崎-53)

上原勇作大将は、明治12年12月、陸軍士官学校(旧3期)を卒業後、日清戦争では第1軍の参謀を、日露戦争では第4軍の参謀長を務めたのち、明治45年4月、第2次西園寺内閣の陸軍大臣に就任します。そして大正元年11月22日、上原陸軍大臣は財政難を理由に延期されていた2個師団増設案を改めて閣議に提出しますが、西園寺首相以下閣僚は反対し、12月1日否決されます。上原はこれを不服とし、翌2日単独で辞表を天皇に提出します。上原の後任を得られなかった西園寺内閣は、12月5日に総辞職します。この史料は、その時の「二個師団増設理由書・同所要額調」で、横浜駐在の露国武官サモイロフ少将に、この2個師団増設案が露国本国に翻訳され漏洩した事案とともに綴られています(他に、「師団増設理由漏洩ノ件」登録番号：陸軍省-軍事機密大日記-T-3-3-3)。



**要塞整理ノ件照会** (登録番号：陸軍省-軍事機密大日記-T10-3-3)

陸軍大臣を辞任した上原は、第3師団長、教育総監の要職を経て、大正4年12月参謀総長に就任します。この史料は、大正8年4月14日、上原参謀総長から田中義一陸軍大臣に宛てた「要塞整理ノ件照会」で、別冊「要塞整理要領」が添付されています。本「整理要領」では、「帝国ハ有事ノ日敵情ノ如何ニ拘ラス本土、大陸間ノ交通連絡ヲ確保スルコト緊要ナリ又兵路上必要ナル諸海峡ハ之ヲ制扼セサルヘカラサル」とし、朝鮮海峡要塞系・豊予要塞・津軽要塞・室蘭要塞・大連要塞の新設、芸予要塞・広島湾要塞の廃止と函館要塞の改編などが予定されています。さらに同年7月、太平洋方面の防備を強化するため、父島要塞と奄美大島要塞の建設が決定されました(「要塞整理要領追加ノ件照会」登録番号：陸軍省-軍事機密大日記-T10-3-3)。

《お知らせ》

史料保存のためのマイクロ撮影にともない、一時的に閲覧できない史料があります。

詳しくは、防研ウェブサイト「閲覧が一時不能となる史料」をご覧ください。

※ 記事に関する御意見、御質問等は下記へお寄せ下さい。なお、記事の無断転載・複製はお断りします。  
防衛研究所企画部企画調整課  
専用線：8-6-29171、29175 (史料紹介コーナーのみ29651)  
外線：03-3260-3011  
FAX：03-3260-3034 ※ 防衛研究所ウェブサイト：www.nids.mod.go.jp